

折り畳み自転車運用実験！！ 輪行キャンプツアー

近年、折り畳み自転車を旅の道具として再構築しよう、という動きが顕著です。一般的には宿泊施設を使い、さらに輪行などを組み合わせて、という人が多いでしょう。しかし積載能力また走行能力もしっかりしている物であればMTBにも引けを取らない旅自転車性能を持っているといえます。そう、イッチョやったるか！という気にもなるのです。そこで企画されたのが本ツアー。またしても折り畳み自転車の可能性を探ろうと日夜頑張るお客様にご協力いただき行って来ましたのが支笏湖です。ソロキャンプ装備で峠を越えて支笏湖まで走り、ポロピナイキャンプ場で一泊、翌日は千歳の方に抜け、ここぞ折り畳み自転車の本領発揮、フルキャンパー装備での輪行にトライしてみました。やって見ますと、結構いける物であることがわかります。どのような戦いになりましたか振り返ります。



08年9月9日、真駒内競技場前広場です。参加してくれたのは私の他に頑張り屋のお客様で有志の方2人。一人は既にリタイアなさっており、もう一方はわざわざ仕事をお休みになって参加して頂きました。参加した車両はBD-1が3台です。個人的にはプロンプトンで行くか、とも考えましたが、大事をとってBD-1で行きました。峠越えだとか、ダウンヒルだとかが入る場合はBD-1は素晴らしい車両であるのがよくわかります。私のキャンプ装備は30Lほどのバックパックに積み出し入れの頻繁なものはフロント側のバッグに入れました。プロンプトンのキャリアシステムを転用する形になりましたが、取り付けには注意が必要です、ご興味ある方はお尋ね下さい。もう一方は、バックパックを担いで頑張りました、、、凄い！

芸術の森を過ぎ、いよいよ始まる目くるめくヒルクライムワールド。激走するMさんです。BD-1モノコックモデルに日東のキャリアを付けプロンプトンのキャリアシステムを転用し、その上でバックを担いで頑張ります、凄いなあ。しかし元山屋さんらしく一歩一歩着実にゆったりと上ってこられました。途中で足がつかない私とはエライ違いです。少々のキャリアに比べて荷物積みよりは、背負った方が自転車がよじれる様な感じが少ない、ということでした。それにしてもすれ違うロード練習の人たちの半ばあきれるような視線が心地よかったですね。



すったもんだの末にやってきました支笏湖。長い下りを行くわけですが、装備重量を考えると下りで無理をすることかなり危ない！！というわけでのんびりのんびり下りました。



日帰りの方はここでさよなら。しかしポロピナイから真駒内へバスが出ているんですね。折り畳み自転車ツアーの一つの形に出来ないかしら、、。（現在は廃線のようなです）

テントサイトの情景が二つ、、。左の写真はモンベルのモノポールシェルターにスノーピークのペンタイスを組み合わせて、自転車旅向けの軽量テントを目指しました。前室が大きく取れますので自転車を畳んで入れることが出来ます。しかし、イレギュラーな組み合わせなので、問題が無いでもない、、です。右の写真は、定番のダンロップテント。やっぱり自立するテントはなんだかんだと使いやすいですねえ。自転車ごとテントの中に収納されてました。



翌朝はさくさくと起き出し、自前の煮炊き道具で朝食をとり（ソロキャンプって感じがしましたね）支笏湖畔観光地に向かいます。この先は千歳駅まで走り電車で札幌に帰るといった流れです。



行程中最も標高の高いところでの一枚。右側の車両は仕事をお休み頂き御参加頂きました方の車両で、日帰り装備です。これに雨具、行動食、工具などを入れてこのコースにはよくお見えになるとの事でした。流石に日帰り装備は軽い、、ワケですがそれだけではない確かなものを感じさせる走りをなさってました。



途中の東屋で昼食です。なんだか、自転車で旅してるなあ、、と痛感できるひと時でした。食後のコーヒーもご馳走頂きありがたいありがたい、、。しかしみんなで頂く食事というのはなんにしても美味しいものです。

総括

当店で販売している折り畳み自転車は、乗ればわかることですが結構走ります。今回のツアーは走行性能を可能な限り追求してみようではないか、と言う主旨の元企画運営されました。一般にはロード、MTBなどで無ければ出来ない、、と思われていることが折り畳み自転車であれば、MTBではまず出来ないすばやい輪行、その他のことを加味することで従来の自転車旅ではありえなかった形ができるかもしれないなあ。と夢想していたのが何とか形になりました。峠越えを入れたのもそのためです。私的には、仮にMTBで行ったとしても同じように苦しんだらと思う。その分、電車に載せる時、テント内で収納する時、、の優位さが際立つような気がいたしました。自転車旅をする際に一番怖いのが出先でのトラブル。しかし、交通機関とこんなにフレンドリーな自転車であれば、もしもの際の手も色々打つことが出来、何かと心強いのではないかと思います。こういった取組みが積み重なって北海道を畳める自転車で旅する、、と言う人が増えると凄いいことだと思います。仮に宿泊施設を使ったにせよ、畳んで部屋において置けるというのも素晴らしいと思いますよ。ご不明の点は、店主までお尋ね下さい。